

2024年8月19日

2025年3月期第1四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、2024年8月9日（金）に開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問を、事業別にまとめたものです。なお、投資家の皆様に、より当社をご理解いただけるよう、一部内容の加筆修正を行っております。

【全社】

- Q. 計画通り推移しているとのことだが、第1四半期の業績は弱含みに見える。もう少し具体的に、計画通り推移しているということを説明してほしい。
- A. 各事業毎に、具体的な状況をご説明いたします。
- 展示会事業においては、展示会開催月に売上を計上しますので、先行指標となる出展小間契約数が重要な指標となります。出展小間契約数は、第1四半期末時点で業績予想を上回る3,610小間（業績予想：3,221小間、前年同期：2,353小間）となっており、極めて順調に推移しております。
- M & A 仲介事業においては、譲渡実行された時点で売上を計上しますので、先行指標となる契約状況が重要な指標となります。第1四半期においては、新人の成約時期が遅れたことにより、契約金額が前年同期をやや下回っていましたが、2024年7月時点では前年同期を上回っており、順調に推移しております。
- 人材採用支援事業においては、採用イベント事業、人材紹介事業とも受注金額、売上高とも前年同期を上回っており、順調に推移しております。

【展示会事業】

- Q. 展示会関連サービス（ブース施行・運営支援）が前期と比較して減少したとのことだが、業績予想に織り込み済みであるか。
- A. 業績予想に織り込み済みです。前年同期においては、数年に一度の海外の大型展示会にクライアントが出展し、展示会関連サービスを請け負ったことから、売上が大きく増加しました。

【M & A 仲介事業】

- Q. 新人の成約時期が遅れているとのことだが、これは業績予想に織り込み済みであるか。
- A. 第1四半期においては想定外でありましたが、通期業績予想は、ある程度の変動要素も織り込んで策定しておりますので、新人の成約時期が遅れたことによる業績予想の変更はありません。
- Q. コンサルタントの人員数が業績予想に対し遅れているように見えるが、採用環境が厳しいということか。
- A. 新教育制度定着のため、2024年9月まで新規採用を戦略的に抑制していますので、概ね想定通り推移しております。ただし、退職者の補充は、若干遅れが生じております。

以上